

COLUMN: 先生紹介 ▶ 大谷 実久 (今福教室)



はじめまして。今福教室で非常勤講師をしている大谷実久です。小学3年生の時に珠算部に通いはじめ、中学部から塾に入会し、大学受験ではカイチ予備校でお世話になりました。カイチの先生方のおかげで第一志望である関西大学北陽高校に合格し、現在は関西大学の文学部に通っています。大学では英米文化を専攻志望ですので、特に英語の質問お待ちしております！

今回は、私がどのような経緯で英語に興味を持ち、英米文化を学びたいと思ったのかということをお話したいと思います。皆さんは、英語が得意でしょうか。私は中学生の頃、英語が得意だと思っていました。しかし、受験勉強のときに

英語は自分の考えを広げるためのツール
意識を変えて英語を学んでみよう。

長文問題が全く解けませんでした。そんなとき、当時英語を担当していたジュニア先生から、英語の文章を読む方法やマーカーの引き方、やり直しの方法を改めて学びました。正しいやり直しを繰り返すうちに英語の点数はみるみる伸びていきました。好きな教科の点数が高いと自分が1番嬉しいし、もっと頑張ろうという気持ちになります。カイチのおかげで私は英語の楽しさを学ぶことができました。今、勉強を苦手だと思っているみなさんも一緒に前進していきましょう。

ところで、みなさんは英語を1つの教科として考えていませんか。ほとんどの方が「はい」と答えると思います。英語が世界中に広がった一因は、植民地制度だとされています。英語圏の人々が円滑な統治をするために英語を押し付

け、原住民の母国語を廃止しました。このような、英語が共通語になった背景を知っても、英語を当たり前に使うことができるでしょうか。私は、このことを聞いても英語の勉強をやめようとは思いません。このような事実を受け止めた上で、英語を1つのツールとして身につけたいと考えています。将来は、英語の論文や新聞を読み、自分の考えを広げたいです。皆さんも英語が自分の考えを広げるためのツールだと考えると勉強と意識せずに学ぶことができるのではないのでしょうか。英語への意識を変えて学んでみてください。何か新しい発見があるかもしれません。最後に、勉強のしんどさも、喜びも一緒に分かち合った仲間は一生涯の友達です。皆さん最後まで一緒に頑張りましょう。

坪田の
ちょっとイイ話
TEACHER'S VOICE 諸口教室 坪田 陽一

母が遺してくれたもの

10月某日、カイチの社員研修がありました。その中で自分の特性を見つけるワークがありまして、そこで塾長と話していたところ、何気なくかけられた言葉が、「坪田先生はお母さんの存在が大きいなあ」ということ。

指摘されて改めて振り返り、気づいたことをここに書いておこうと思います。

母は1年半程前に癌でこの世を去りました。1年間程通院治療を続けて、一時は薬も効き、このまま上手く癌細胞と付き合っているかとも期待していたのですが、別の場所に転移が見つかり、そこから2カ月くらいであっけなく逝ってしまいました。いよいよまづいと妹から連絡を受け、授業を高木先生や非常勤の先生方に託して駆けつけた、まさにその日に力尽きるようにして亡くなりました。偶然なのか、それとも待っていてくれたのかは分かりません。

私の実家は長野で養鶏業を営んでいて、家族経営の為日曜日も鶏の世話でほとんど休むことはできず、私も休日には手伝いに駆り出されてい

ました。母は大学病院に臨床検査技師として勤める傍ら、休日は養鶏の手伝いから会社の経理、家事に育児にと本当に忙しい日々を送っていたと思います。そんな忙しい合間を縫って、よく居間で本(特に推理小説)を読んだり、新聞のクロスワードパズルを解いたり、ナンバークロス、イラストロジック等の本も買って解いたりしていました。今思えば、忙しくてそれくらいしか楽しみがなかったのだらうと思いますが、小学生の私は、母が真剣な顔で、でも楽しそうにしているのを見て羨ましくなり、いなくなったスキに同じ本を読んだり、また続きをこっそり解いてみたりしていました。

思えばそれがきっかけで、推理小説にはまり、今でも探偵役が謎を解き明かしていく過程に胸を躍らせたり、意外な結末に「だまされたあ〜」と悔しがったりしています。またパズルに熱中し、難しい問題を解く喜びを感じる中で、数学にも徐々にのめりこみ、大学でも数学を専攻し、結局今も塾で数学を教えているわけです。

極端な話、母のそういう姿を見ていなければ、私はこの仕事をしていないかもしれません。

母としては別に何か意図があったわけではないでしょうが、そんな日常の何気ないコマの積み重ねが、今の自分を作りあげているのだと改めて気づきました。今の自分が多少なりとも人の役に立っている仕事が出来て、家族を養い、それなりに充実した生活ができていけるのも、そうやって母が自分の中に遺していった無数のもののおかげだと思えます。

こんな記事を母が見たら「なにを大げさな。恥ずかしい」と怒られそうですが、まあ大阪に知り合いもいないからばれることはないかと思えます。感謝をもちや直接伝えられないのが残念ですが、自分がきちんと母の息子であると、そう気づくことができ本当に良かったと思っています。ちなみに父はまだ健在です。「養鶏もやめたし、これから夫婦で色々出かけよう」と計画していた矢先に亡くなったので、一時はだいたい落ち込んでいましたが、夏にオンライン帰省した際にはだいぶ元気になっていました。酒の量には気をつけて、長生きして欲しいものです。

カイチからの
お知らせ

- 今年のクリスマス会はコロナウイルス感染予防のため中止です。その代わりとして景品交換を12月16日(水)~12月22日(火)で実施します。
- 12月22日(火)・23日(水)は小学診断テストを実施します。■12月23日(水)・24日(木)は中学診断テストを実施します。
- 珠算・パスカルキッズ・トーキングキッズの冬休みは12月23日(水)~1月8日(金)です。
- 小学部・中学部の冬期講習会を12月24日(木)より実施いたします。詳しくは冬期講習の日程表をご確認ください。
- 12月29日(火)~1月4日(月)まで冬期休業いたします。
- 1月9日(土)より通常授業がスタートです。珠算・パスカルキッズ・トーキングキッズはこの日が新年度の授業始めとなります。

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

Growing

December 2020
Vol. 99
毎月10日発行【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】 城東区今福西 2-9-20 TEL.06-6934-4662	【今福第2教室】 城東区今福西 2-16-8 TEL.06-6931-2000
【諸口教室】 鶴見区諸口 4-14-9-1F TEL.06-6912-3984	【関目教室】 城東区関目 4-6-17-2F・3F TEL.06-6934-8117
【今津教室】 鶴見区今津南 1-6-2-1F TEL.06-6167-9722	【古市教室】 城東区古市 3-21-8 TEL.06-6931-0467
【高殿教室】 城東区成育 5-22-10-2F TEL.06-6786-1008	【カイチ予備校】 城東区今福西 1-10-17 TEL.06-6935-2220
【エニグマ】 中央区谷町 9-4-5-3F TEL.06-6777-1563	【万緑会】 天王寺区上本町 6-9-10-3F TEL.06-6772-5011

珠算競技大会

古市教室優勝おめでとう!



高木 秀章(塾長)



コロナウイルスが猛威を振るう中、皆様いかがお過ごしですか。政府が早々と「学校の休校はない」「受験は通常通り行う」と発表してくれましたので、少し安心しています。とにかく、普段通り受験生達が悔いの残らないようベストを尽くせる環境が何よりです。私立受験まであと2カ月。学校や塾の三者懇談会で受験校も決定し、いよいよ緊張感が高まっていますが、大切なことは、先を見すぎて不安にならないこと。しっかり足元を見て自分がすべきことを粛々と積み重ねる。充実した毎日の積み重ねの先に必ず合格は待っています。皆さん、コロナ対策と共に体調管理も意識して、1日1日を丁寧に過ごしてください。

毎年恒例の競技大会は、3密防止のため、みんなで集まってはできませんでしたが、テスト形式の速算競技のみ各教室で実施しました。結果は別紙にもあるように古市教室の5連覇。そして、栄えある最高得点賞は関目教室の松本望美さん(小5)が1155点で見事獲得しました。おめでとうございます。

今回の競技会の最大の特徴は、各教室の生徒レベルが拮抗してきたこと。合計得点で学年対抗では、古市教室が2年・3年・4年・5年の4学年で勝利しましたが、各学年での優勝選手を見ると1年菅井奏佑君(今福)、2年幡美織さん(古市)、3年坂井莉紗さん(今津)、4年川崎楓菜さん(今福)、5年松本望美さん(関目)、6年佐々木奈月さん(今津)と各教室に散らばっています。どの教室にもすごい生徒がいることで、お互いが刺激し合い教室レベルも一層上がってくるかもしれません。特に最高得点賞の松本さんはまだ5年。来年は松本さんの1155点を目標に練習することになりそうです。

毎年、競技会の指導を通じて感じることは、子供たち同士の「化学反応」。昔はそろばん日本一決定戦用の本の最大桁数十京は到底無理だと考えて

いましたが、古市で川西先生が指導を始めたことを皮切りに、次々に各教室の生徒達が正解できるようになっていきました。今では、上級部では十京の読み上げ算を正解できるのは普通になり、トップクラスの生徒達は一億~十京の桁違いで決勝を勝負、昨年度はこの桁数のマイナス算を4年の兵頭香伶さんが正解しカイチナンバーワンに輝きました。年々、レベルが上がっていく中で、今年の子供達ははどうだったのかを見えなかったのは残念でなりません。

昔、そろばん日本一を毎年輩出している埼玉のそろばん教室USAの高柳先生を訪ねて「どうすれば生徒をもっと伸ばせるのか」と聞いたことがありました。その時、高柳先生が「常識を振りかざして、子供の可能性をこんなものと決めつけないこと」とおっしゃっていたことが今も心に残っています。

子供達の可能性は無量大、もしかして子供達の可能性を縛っているのは、大人の方なのかもしれません。

また、来年の競技大会に向けて研鑽を続けていきたいと思います。今年のGROWINGも年内は最終号となりました。今年は、誰もが例外なくコロナウイルスの猛威に振り回された1年でした。その中で、私を感じたのはみんなで集まる大切さ。緊急事態宣言下、全コース休校の中受験生たちと集まり勉強した時、週に1回の質問日で顔を見た時、ネット空間のZOOMでも元気な様子を見られた時、やはり人間は書いて字のごとく人と人の中でしか幸せを感じられない、いくら技術が進歩しても、人は人によってしか磨かれないというシンプルなことを考えさせられました。そして、今となっては連日深夜まで先生達みんなで、ZOOMの模擬授業チェックをして「あーでもない、こーでもない」と試行錯誤したこともいい思い出です。

今年も1年、本当にありがとうございました。まだまだ未熟な私達ですが、皆様から少しでも期待していただけるような学習塾になっていきたいと考えております。皆様、良い新年をお迎えください。

▲最高得点賞、松本望美さん
(関目教室)おめでとう!

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

今、絶対やるべき赤本活用術

川西 久志 (今福教室)

寒くなり、体調不良の生徒も少しずつ増えてきております。受験生の皆さんは体調管理を万全にできるようにお願いします。手洗い、うがい、マスク着用を忘れずにしてください。

中学3年生の皆さんは2学期の定期テスト、五ツ木・進研模試、学校の実力テストが終了し、私立の成績資料がほぼ出そろった状況だと思えます。ここから入試に向かっての最後の踏ん張りどころ。元来はこのスペースは教室紹介ですが、あえて今知って欲しい赤本の使い方をご紹介します。

【12月中に赤本は3カ年分】

12月は大きなテストがなく、油断すると気を抜いてしまいます。しかし、この時期に私立赤本をできるだけ進めておく大きなアドバンテージとなります。目安として最低3年分を演習して、間違い直しと質疑まではやるようにと伝えています。なぜなら、私立入試は2月10日(水)。年が明けて1月になると塾では模試、学校では最後の実力テストと学年末テストがあり1月中は赤本に集中する時間がありません。学年末テストが終わるのが1月末なので、私立入試までは2週間ほど。赤本は5年分ありますので、2週間で5年分を演習、間違い直しをするのは不可能です。ですから12月中に2年分(できれば3年分)を終わらせておくと、ゆとりをもって私立入試を迎えられます。志望校が固まっていない生徒は塾に赤本があるのでコピーして使ってください。

【勉強方法は赤本→質問→単元復習】

気になるこの時期の学習方法ですが、①赤本の演習②丸付け・間違い直し③弱点単元の補強の順序です。次に1つずつ見ていきます。

①赤本の演習

赤本は古い年代から必ず時間を計って行うようにしてください。時間を計ることで、いかにテストでスピードが要求されるか、テストの受け方にも要領が必要なのがわかります。学校ごとの問題傾向は毎年ほぼ同じ(数学ならば毎年1番は計算、2番は関数系、3番は図形系のように)ですので、問題ごとの時間配分や自分なりの解く順序を決める、難しい問題は飛ばして後で考えるなど工夫するだけでも得点は変わります。結果は一覧表を作成して記録してください。赤本の前のページの合格最低点が載っていますので、その得

点も一覧表に書き込み合格点との差を常に意識しながら学習するように心がけましょう。



赤本は必ず時間を計ってすること。時間配分を意識して問題を解く習慣が大切です。

②丸付け・間違い直し

テスト終了後、丸付けと採点を行ってください。この際、自分の答案の確認を行います。ポイントは次の2点です。1つ目は答案用紙全体にざっくりと目を通し、自分がどのような単元の問題で間違えているのか、弱点単元の把握を行うこと。そして2つ目のポイントはケアレスミスが何点分あるのかの理解です。ケアレスミスの箇所は色を分けて印をつけましょう。最高のケアレスミス対策は自分のケアレスミスの傾向が何で、何点程度あるかを知ることです。通常、意識しなければケアレスミスは1教科5点~8点、5教科で25点~40点程度あります。つまり、ケアレスミスを失くせば合格点に到達できるケースが大半です。

答案確認後、間違い直しを行います。原則は赤本の後ろの解説を読みながら進めます。

このことから考えても赤本選びのポイントは解説の丁寧さに尽きます。わからない箇所は必ず先



赤本の解説で考えた上で質問するのがポイント

生に質問するようにしてください。ただし、自分でしっかり考えた上で質問しないと力はつきません。そのような地道な努力が実力差になることを分かった上で間違い直しをしてください。

③弱点単元の補強

間違い直し終了後、答案確認の時に気づいた弱点単元の復習を、普段自分が使っている参考書(もちろん塾のWINPASSなどでOK)で行います。理科の造岩鉱物の箇所を忘れていたら、そのWINPASSの参考書部分とその単元の不安な部分を覚え直します。(参考書内のこのような弱点箇所は目立つ色で困っておきましょう。実力・受験直前でどこが弱点かがすぐにわかります。)この際、必要ならば、参考書内の関連問題を解くのも良いでしょう。こうすることで、弱点単元の周辺知識も強化され、テストの時によくある、思い出せそうで思い出せないという事態を防ぐことができます。



弱点単元補強には塾で使っている受験テキストがおすすめです。

私立の過去問題は中学3年間の学習内容の理解度を確認するために、高校の先生たちが自校の威信をかけて練りに練って作っている良問です。つまり、過去問題を解き、丁寧に間違い直しを行い、弱点単元を埋めるという学習をすることで、効率良く3年間の学習の総まとめを行うことができます。私立赤本の対策は単に「合格できる」ことを試すだけのものではなく、それを通して更なる実力アップできる優秀な学習ツールなのです。

先生が年内で2年分解けと言ったから…。そのような認識の方は、私立の赤本対策が公立本命の対策になっている、それ以上に高校進学後の学力に繋がっていることを理解して行うようにしてください。

Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

Third-year Junior High Students Listening Test Preparation ~入試のリスニングテストに向けて~

Silvestre B. Medelin (トーキングキッズ)

Taking the high school entrance test is once in a lifetime. This significant event is life changing since the high school they can enter to will hone them for a bright future. Third year junior high school students want to enter the best high school, so they give their best to pass the test. How can they pass the test? What preparation do they have to do? The result of the test depends on the effort of the students themselves and the teachers who guide and help them to achieve the passing score. One of the tests they must take is the listening test of the English test. I was surprised at the reaction of some third-year junior high students whose level is Eiken Pre-2 when I mentioned about the listening test. I saw on their faces that just hearing it caused them to panic. If they had that reaction, how much more to those students whose level is below Eiken Pre-2. To be honest, just taking the test without any knowledge on how to answer different types of questions will lead them to failure, so I explained that there are various tech-



niques to pass the listening test. Having said that, the English team did prepare to guide the students and teach them the techniques in answering the listening test. Ms. Katrina and I had several demonstration teachings to get used to the type of the test they are going to take. The comments and suggestions of the team helped us understand the nature of the test takers and the test itself. These students have different English level from low to high level. In addition, they are determined to pass the test, so they tend to be serious and avoid unnecessary conversations that might steal their time to practice the listening test. The teaching styles needed for the high school entrance test practice is different from TK and junior high Eiken classes. Teachers must be conversant and jolly in TK and junior high Eiken classes which is opposite in entrance test practice. Thus, we have to be serious and just focus only on the listening test questions. During the preparation, we examined the types of listening test to be taken by third



year junior high. The test has two types: level B and C. The high schools decide of which level the students are going to take depending on their English level. The entrance test has different types of questions which includes Question-Response, Pictionary, Graph, Conversations, and Talks. We came up with several listening techniques which will be highly effective if they are used throughout the listening test. The techniques are also written in both English and Japanese, so students can understand and use easily. There are suitable techniques for each type of question, and they are explained thoroughly to the students before the listening practice. These techniques are also applicable for other type of listening test such as Eiken and TOEIC. If every technique is used properly, all our students will definitely pass the listening part of the high school entrance test. Good luck to all third-year junior high students. You can do it!!!



高校入試は一生に一度しかありません。この非常に大切な入試で、皆さんの明るい未来が切り開かれます。皆、志望校に合格するために最善を尽くしています。どうすれば志望校に合格できるでしょうか。どんな準備をしなければならぬでしょうか。合格するためには、本人の努力と、合格できるように指導する先生の力が必要です。各教科の中で、英語の試験にはリスニングテストがあります。そのリスニング内容についてお話したときのことです。英検準2級レベルの生徒達のリアクションに、私はとても驚きました。見た目にはわかるほど、みんなパニックに陥っていたのです。準2級の生徒をもってしても!英検を持っていない生徒達に同じことを話したら、さらに大変なリアクションになったことでしょうか。率直に言うと、いろんな問題の解答方法を知らないまま、テストを受けるだけでは失敗します。ですから、

合格するためのテクニックを説明したのです。そしてさらに英語の先生達で、どうすればリスニングができるようになるか、その説明をする準備に取り掛かりました。カトリナ先生と私は、いろいろな種類の問題に慣れてもらうためにいくつかの模擬授業をしました。この模擬授業がリスニングテストにとっても役立ちました。生徒達の中でもレベルの差があります。でも皆、試験に合格するために一生懸命なので無駄話も一切しません。高校入試に必要なリスニング指導は、トーキングキッズや英検の授業とは異なります。トーキングキッズや英検の授業では、英語に精通しているのはもちろんですが、先生は陽気でなければなりません。しかし高校入試ではそういうわけにはいきませんから、私達は真剣にリスニングの質問だけに集中しなければなりません。私達は受験のリスニングテストの研究をし

ました。難しいレベルの高校では、B問題かC問題が出題されます。高校によって、どちらのレベルになるか決定します。入試にはさまざまな種類の問題が出題されます。例えば、質疑応答や挿絵及びグラフを見て判断したり、会話文を聞いたりします。そこで私達は非常に効果的なリスニングテクニックをいくつか考えました。そのテクニックは英語と日本語の両方で書かれているので、皆さんにわかりやすく使っていただけます。質問の種類ごとに適したテクニックがあるので、リスニング練習の前にそのテクニックを徹底的に説明します。これらのテクニックは英検やTOEIC等他のタイプのリスニングテストにも適用できます。これらのテクニックを上手く使いこなせば、入試のリスニングに於いては合格まちがいなしです。中学3年生の皆さん頑張ってください。君たちならきっとできる!!!